

地 域 再 生 計 画

- 1 地域再生計画の名称
「兵庫陶芸文化の郷づくり」計画
- 2 地域再生計画の作成主体の名称
兵庫県，篠山市
- 3 地域再生計画の区域
篠山市の区域の一部（篠山市今田町）

4 地域再生計画の目標

兵庫県篠山市は、京阪神から約1時間という地理的条件でありながら、緑あふれる山懐に抱かれた自然の風景が多く残り、郷土のシンボル篠山城跡を中心に、独自の歴史や風土を土台とした多彩な伝統文化を育みつつ発展してきた。

また、丹波黒大豆・山の芋・栗・松茸・ポタン鍋など四季折々の「食文化」は、全国的に知られ、多くの観光客が訪れている。

市街地では、篠山城跡・大書院・春日大社能楽殿・武家屋敷・大正ロマン館などのほか多くの文化資源・観光資源が歴史的景観を醸しだしている。

一方、篠山城跡から15kmほど南西に位置する篠山市今田町の虚空蔵山山麓では、一本の県道に沿った約2kmの範囲にほとんどの窯元が集積し、独特の伝統文化を今に伝えている。また、古窯跡(県指定史跡)や登窯(県指定有形民俗文化財)が点在し、その作窯技法は、記録を残すべきものとして国の無形文化財に選択されている。

ここが、瀬戸・常滑・信楽・備前・越前とともに日本六古窯の一つとして数えられる丹波焼のふるさとであり、平安時代末期から今日まで八百年の伝統の灯を絶やすことなく人々を魅了する陶器を生み出している。

丹波焼は国指定の伝統的工艺品であり、手作り・一品作りの素朴な味わいが魅力となっている。

この窯元群の中心付近にある丹波伝統工芸公園「陶の郷」では、窯元の作品展示即売場、気軽に作陶体験ができる陶芸教室、野外施設としてバンガロー、テニスコートが整備されている。

また、北西部には、湯船・床に丹波焼を使用し、湯量が豊富で掛け流しの「こんだ薬師温泉」が16年2月にオープンし、賑わいを見せている。

さらに、17年10月には、「陶の郷」の北側に隣接して「兵庫陶芸美術館」が開館し、陶芸文化の発信基地、交流拠点として、古陶磁器と現代世界陶芸との出会いの場としての展示を行うほか、次世代の陶芸文化を担う人材の養成、学校教育との連携、陶芸ワークショップ・陶芸文化講座等の創作・学習事業等を行うこととしている。

この「兵庫陶芸美術館」の開館を契機として、豊かな自然環境の中で、窯元群・古窯跡群・「陶の郷」・「こんだ薬師温泉」などの地域資源が有機的に結びつき、あたかも一つの博物館というべき「陶芸文化の郷」を形成することになるが、それに止まらず、ここを活動の拠点とする地域文化の担い手を育て、さらに、地域が連携協力して「陶芸文化の郷」にふさわしい環境づくりを推進していくことが必要である。

そのため、今回、「文化芸術による創造のまち支援事業」により、主体的な陶芸文化活動の核となる地域文化リーダーを育て、地域文化力の向上を図り、さらに、地域が一体となって地域の魅力を高める「歩きたい・歩けるまちづくり」地域連携

方策を推進し、「持続可能な地域再生」を実現していく。

【目標値】

- (1) 「陶芸文化の郷」で、文化資源・観光資源等を活用した多彩でユニークな文化交流事業の開催や陶芸文化情報の発信などを行う地域文化リーダーを40人養成する。
- (2) 「陶芸文化の郷」の活性化により、地域の交流人口の増大を図る。
 - ・丹波伝統工芸公園「陶の郷」年間入園者数 15万人(最盛期8年度)
 - ・「兵庫陶芸美術館」年間入場者数 11万人(17年度開館)

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

「陶芸文化の郷」では、豊かな自然の中で、日本六古窯の一つである丹波焼をつくりつづけてきた伝統と文化が息づき、窯元群・古窯跡群・丹波伝統工芸公園「陶の郷」・「こんだ薬師温泉」・「兵庫陶芸美術館」など地域一帯が一つの博物館として新たな魅力を生み出す可能性をもっている。

そのため、これらの文化資源・観光資源を活用した事業展開の核となる地域文化リーダーを養成するとともに、活性化に向けて地域の連携協力を深める地域連携会議を開催し、さらなる地域の魅力と付加価値を生み出し、「持続可能な地域再生」を実現させていく。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 支援措置による事業

支援措置名 C0801 「文化芸術による創造のまち支援事業の活用」

実施主体

陶芸文化の郷づくり実行委員会(兵庫県、篠山市等)

事業趣旨

地域の文化力を高めるためには、豊かな自然の中で育まれた地域資源を活性化するとともに、地域との連携協力を深め、民間の知恵や創意工夫を最大限発揮することが求められている。

そのため、点在する文化資源・観光資源を再評価・編集し、魅力的な「陶芸文化の郷づくり」を市民レベルで主体的に実践する地域文化リーダーを養成する。

期待する効果

魅力的な「陶芸文化の郷」を市民自らが探求し、多彩な交流事業や、陶芸と異分野とのコラボレーションなどユニークな文化イベントの開催、また陶芸文化情報の効果的な発信等が期待できる。

事業実施計画

- ・対象者 陶芸文化の郷づくりや陶芸文化の振興に意欲と関心のある人
- ・期間等 2年間各10回
- ・カリキュラム

1年次:基礎講座(陶芸文化活動・地域資源等に関する基礎知識、

運営・安全管理、実施研修等)

- (例) ・地域の個性化とまちづくり - やきもののまちの魅力と可能性 -
- ・コミュニケーション実習
 - ・問題解決学習
 - ・まちの魅力どう再発見? - まちのあちこちに宝物 -
 - ・地域づくり先進地研究
 - ・理想的なガイドウォーク
 - ・やきものと自然のコラボレーション
 - ・人間サイズのまちづくり - 住民の参画と協働のまちづくり -
 - ・環境問題について学ぶ
 - ・集客の仕組みづくり - 旅行者ニーズと地域ブランド -
 - ・市民参画でイベントづくり
 - ・チラシの作成方法 - 読みたくなるアイデアを学ぶ -

2年次(予定): フォローアップ(フィールドワーク、グループ企画事業、シンポジウムの開催)

- (例) ・グループワークの進め方
- ・調査・アンケートの手法、企画の手順、予算等
 - ・企画実習
 - ・グループワーク企画の実施
 - ・プランの評価
 - ・レポート作成
 - ・ふりかえりとまとめ

5 - 3 - 2 関連事業

地域連携会議の開催

事業趣旨

「陶芸文化の郷」の関係者が連携協力しあう機運を醸成し、地域課題や方向性の共通理解を深め、“地域を訪れる人の視点”からまちのイメージを「歩きたいまち」とし、“地域づくりを行う視点”から「歩けるまち」としてこれらをまとめ、「歩きたい・歩けるまち」をテーマに「陶芸文化の郷」にふさわしい環境づくりを推進していく。

構成員

JR西日本、バス事業者、こんだ薬師温泉、篠山市商工会、丹波立杭陶磁器協同組合、地元情報誌、地元ジャーナリスト、地元陶芸作家、兵庫県、丹波県民局、篠山市等

「歩きたい・歩けるまちづくり」地域連携方策(骨子案)

ア ブランド化の推進

丹波焼のデザイン・機能性の向上を図り、全国的な知名度を高める。

イ 情報発信力の強化

電子・紙面媒体を活用し、県内外に年間を通じてタイムリーで魅力的な情報発信を行う。

ウ 地域連携の強化

効果的・効率的な集客力の向上を図る。

エ 推進体制の整備

観光ニーズにあった事業展開を継続的に行うために推進体制を整備する。

オ 魅力的な基盤整備

「陶芸文化の郷」のイメージアップにつながる利便性の向上を図る。

カ 交通アクセスの充実

路線バス等の交通アクセスの充実を図る。

6 計画期間

平成 17 年度から平成 22 年度まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

施設来訪者数、事業参加者数及びアンケートによる満足度等の調査を関係施設が行い、地域連携会議等で改善策を検討し、地域の魅力向上・活性化に向けて、必要な措置を講じる。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし